

熱中症予防声かけプロジェクトについて

1. 経緯

○ 昨年の猛暑による高齢者の熱中症被害状況を踏まえ、環境省において、企業等と連携した熱中症予防の普及啓発の実施に向け、関係団体等へのヒアリングを実施していたところ。

○ このヒアリングを契機の一つとして、今般、環境メディアフォーラム^(注)が中心となり、企業、メディア、行政等が連携して熱中症予防の普及啓発を進める「熱中症予防声かけプロジェクト」が立ち上げられ、環境省もこれに参画。

注：気象予報士やアナウンサーといった放送文化人が連携し、メディアを通じて環境や気象についての危機啓発や課題解決に向けた取組の提案をする団体

○ 平成23年6月8日（水）には、東京都内にてプロジェクトのキックオフミーティングが開催され、樋高環境大臣政務官より賛同コメントを発表。

なお、本ミーティングには、民間企業66社、メディア49社が参加。

○ 現在、賛同会員を広く募集しているところ。環境省は行政賛同会員となり、環境大臣も賛同人となっている。

（現時点の主な賛同会員：㈱ローソン ナチュラルローソン推進部、大塚製薬㈱、埼玉県熊谷市 等）

2. プロジェクトの内容

○ プロジェクトは、熱中症についての正しい知識の普及を図るとともに、熱中症予防のための注意事項（「熱中症予防5つの声かけ」）を、共通ロゴマーク等を用いて参画企業、参画自治体等が各々の活動を通じ国民へ声かけを行う。

熱中症予防 5つの声かけ

温度に気を配ろう

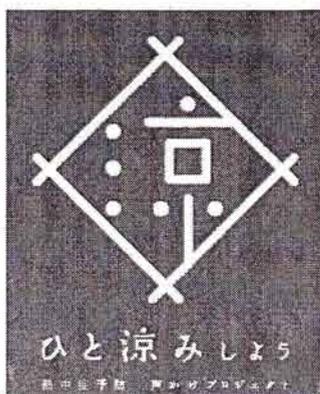
飲み物を持ち歩こう

休息をとろう

栄養をとろう

声をかけ合おう

○ 家族、同僚、友人への更なる声かけを促進し、最終的に、高齢者など暑さ環境の弱者に対し効果があるよう配慮。



ロゴマーク

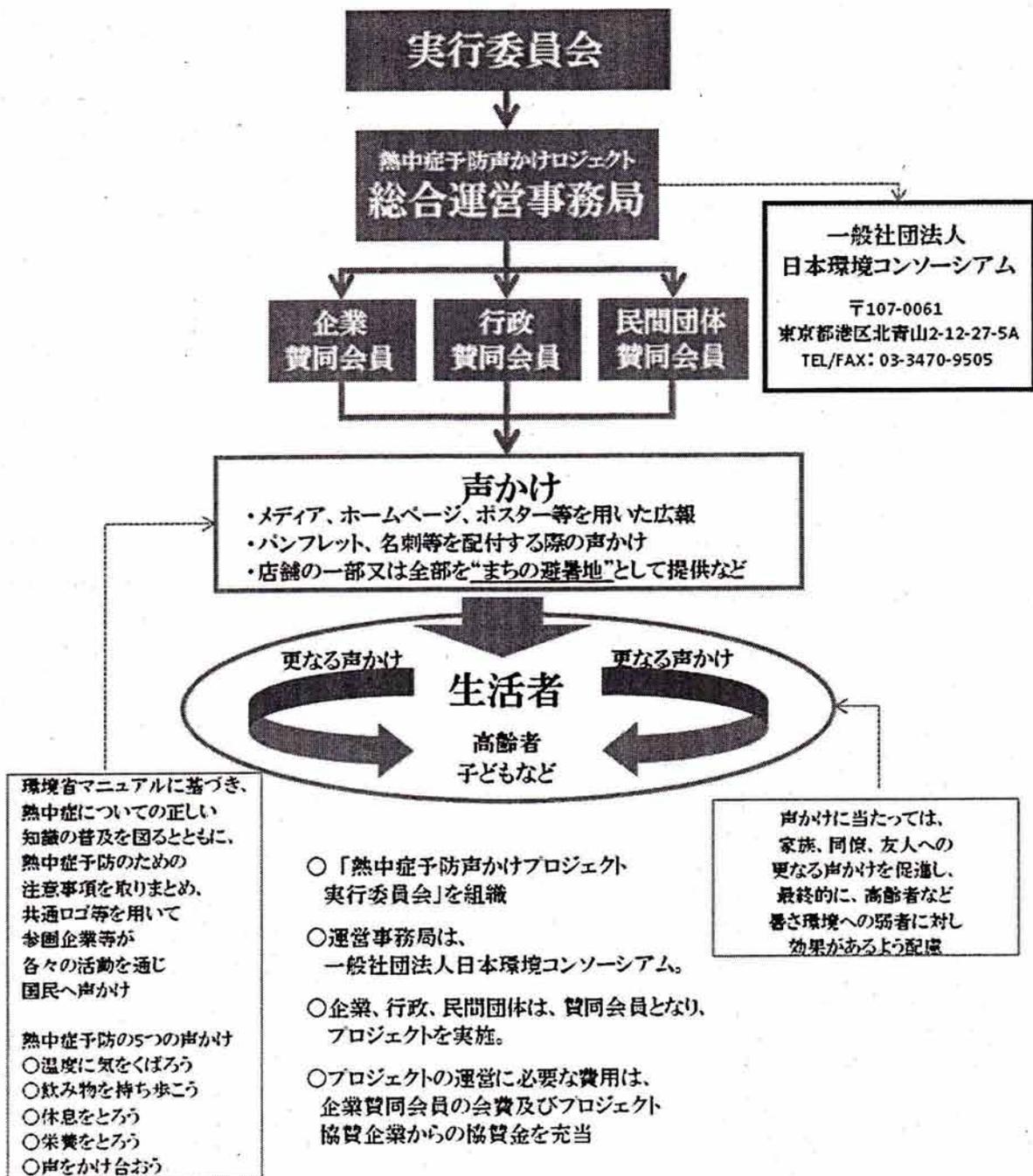


キャンペーン
キャラクター
「涼太郎」

3. プロジェクトの活用例

- 地方自治体による、本プロジェクトのロゴマーク等を活用した、ポスターやパンフレット等の普及啓発資材の作成・配付
- 地方自治体の広報誌による、「5つの声かけ」の普及
- 本プロジェクトのロゴマークを目印とした、地方自治体の庁舎やアンテナショップ等の関係施設におけるクールシェルターの提供など

4. プロジェクトの実施体制



5. 参加方法

- プロジェクトのホームページ (<http://www.hitosuzumi.jp/>) にアクセスし、参加申込等を行ってください。
- 詳細は、同ホームページに掲載された総合運営事務局にお問い合わせください。
- なお、行政賛同会員については、会費無料です。

(参考)

「熱中症予防声かけプロジェクト」実行委員会実行委員名簿

実行委員長	井手迫 義和 国際気象放送協会 (IABM) アジア代表理事、気象予報士
副委員長	河野 一郎 筑波大学特任教授、日本アンチ・ドーピング機構会長、 日本オリンピック委員会理事、 元・東京オリンピック・パラリンピック招致委員会事務総長
実行委員	相原 正道 多摩大学経営情報学部客員准教授
実行委員	大村 卓 環境省 水・大気環境局大気環境課大気生活環境室長
実行委員	日下 博幸 筑波大学 計算科学研究センター准教授
実行委員	槌屋 茂康 株式会社イレブン代表取締役社長
実行委員	土肥 大介 株式会社柴田書店 代表取締役社長
実行委員	根本 美緒 気象予報士、フリーアナウンサー
実行委員	三宅 康史 昭和大学医学部准教授
実行委員	宮島 秀司 映画プロデューサー、文化女子大学大学院客員教授
実行委員	森上 淑美 一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長
実行委員	山川 修司 日本大学文理学部地球システム学科教授
実行委員	横川 紀夫 株式会社ディーンアンドデルーカジャパン取締役会長
実行委員	渡部 厚一 筑波大学大学院人間総合科学研究科スポーツ医学専攻講師

(実行委員は五十音順)